立花生徒会新聞 Trefle通信

第4号　平成30年4月11日　水曜日
尼崎市立立花中学校
生徒会新聞

ご入学おめでとうございます

新一年生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

今、みなさんの心の中はこれから始まる中学校生活への期待と不安が入り混じっていることでしょう。私も二年前は、みなさんと同じような気持ちで立花中学校に入学しました。部活動で先輩とは上手くやっていけるか、授業についていけるか、校則は厳しくないかなど色々と不安があるかもしれません。ですが、同じ思いをした私達だからこそ、きっと力になれると思います。徐々に新しい環境にも慣れていけるので安心して学校生活を送ってください。

三年間のスタートラインに立つみなさんは、たくさんの可能性が秘めています。自分らしさを大切に今しかできないことを見つけましょう。そして、この立花中学校に受け継がれる様々な良い所を見つけていってください。「初心忘るべからず」という言葉があります。始めたときの新鮮で謙虚な気持ちを忘れてはいけないという意味です。中学校生活を精一杯頑張ろうという意気込みを忘れないようにしましょう。

中学校に入ると部活動も始まり、勉強も忙しくなっていきますが、その分充実した毎日を送ることができます。中学校は、体育大会や合唱コンクールなどクラスの絆が深まる行事がたくさんあります。私は、中学校に入ってみんなで一つのものに向かって努力することの素晴らしさを知りました。一致団結し、みんなで何かをやり遂げたときの喜びや達成感は計り知れないものです。きっと最高の思い出になります。一人一人が精一杯取り組み、協力し合って頑張りましょう。

今から始まる中学校生活三年間は長いと感じる人もいると思いますが、何気なく毎日を過ごしていると三年間はあっという間に過ぎてしまいます。みなさんの大切な三年間を実りあるものにするためにも何か夢中になれるものをぜひ見つけてください。

立花中学校は、この四月から七十一年目の歩みを始めました。私達と一緒によりよい立花中学校を築いていきましょう。

立中の生活

今日から立花中学校の一員となった新一年生のみなさんは、新しい生活をスタートします。そこで、今回はみなさんが新しい環境に早く慣れ、楽しく充実した生活を送れるように立花中学校について二つ紹介したいと思います。

一つ目は「生活三原則」についてです。立花中学校には「時を守り、場を清め、礼を正す」という生活三原則があります。「時を守り」とは、時間に遅れないように心掛けることです。授業に遅れると、その分学習出来る時間が短くなってしまいます。また、私たちに色々なことを教えようと待ってくださっている先生方の気持ちを、その間無視してしまうことになります。時間を守るということは相手の気持ちを尊重することにも繋がります。中学校では移動教室が増え大変かと思いますが、授業や掃除などに遅れることの無いよう、日頃から時間を見て行動しましょう。次に「場を清め」とは、掃除をすることです。みなさんは掃除をする意味を5Kで表すことは知っていますか。5Kとは「気づく人になれる、心を磨く、謙虚になれる、感動の心を育む、感謝の心が芽生える」のことです。全員が集中して授業に取り組める綺麗な環境を作れるように、しっかりと掃除に取り組みましょう。そして「礼を正す」とは、挨拶をすることです。立花中学校では先生方や来賓の方に会った時に必ず挨拶をしています。挨拶は社会でも大切なことです。毎日意識して挨拶すると自然に習慣となって身に付きます。初めは難しいかも知れませんが、新一年生のみなさんも意識して積極的に挨拶をしましょう。

二つ目は「めざす生徒像」についてです。立花中学校がめざす生徒像は「強く生き、正しく考え、優しく関わる生徒」です。先ほど話した生活三原則を守りながら、立花中学校が目指している生徒像に近づけるよう、互いに協力し、努力しましょう。

最後に中学校は小学校と違う点も多いと思いますが、新一年生のみなさんも分からないことがあれば先生方や先輩に聞いてみましょう。長いようで短い三年間です。今より成長した自分で卒業出来るように、日々意識して過ごすようにしましょう。

Trefle（テリーフ）の意味「調和」仲が良く全員が輝ける学校

生徒会新聞について

みなさんが今、読んでいるこの新聞は生徒会執行部が月に一度、その月の行事などをテーマに作成・発行している生徒会の新聞です。体育大会や文化発表会など学校行事についての内容、各学期に行われる定期テストについての内容、各委員会からの連絡など、様々な記事を載せています。この「Trefle」のタイトルは生徒会執行部が意見を出し合い決定したものです。「Trefle」とは、フランス語でクローバーという意味です。クローバーと言えば三つ葉や四つ葉が有名ですが、五つ葉や六つ葉、七つ葉などもあるそうです。葉の数が違うと、クローバーに込められる意味が違ってくることをみなさんは知っていますか。一つ葉には困難に打ち勝つ、二つ葉には調和、平和、三つ葉には愛や希望、約束、四つ葉には幸福、そして七つ葉には無限の幸福という意味があります。十つ葉まであるそうです。興味のある人はぜひ調べてみてください。クローバーのすべての葉に良い意味があるように、立中生一人一人が輝ける学校になればいいなと思い、このタイトルにしました。二つ葉の花言葉の調和には、全体が程良く釣り合い、矛盾や衝突がなくまとまっているという意味があります。全校生徒一人一人の力が集まれば、大きな力が生まれます。そうすると、そこに調和が生まれ、一人一人がお互いを高め合い、調和のとれた学校を目指すことができます。ノーベル平和賞を受賞したマザー・テレサは「神は私達に成功してほしいなんて思っていません。ただ、挑戦することを望んでいるだけです」という言葉を残しています。一年生のみなさんはこれからの中学校生活に不安を持ち、挑戦することを恐れてしまうことがあるかと思います。そんな時は、先輩に相談したり、ぜひ生徒会新聞を読んでみてください。私達はこの生徒会新聞を通してみなさんのためになる情報を発信していけるよう努力しています。内容が難しそうと感じることもあると思いますが、どの記事も凄く読み応えがあります。ぜひ読んでみてください。

特別教室の利用について

あちらこちらで、桜やチューリップなどが咲きだし、春だと実感できるようになりました。そんな中、新一年生のみなさんはこの立花中学校に入学してきました。ところで、特別教室の場所は覚えられましたか。中学校紹介の冊子にも書かれていましたが、特別教室は大切な教室なので、今回は特別教室の利用方法とルールの説明をしたいと思います。

特別教室は主に美術や音楽、技術などの実技教科で使われている他、学年集会などの集会を行う場所となっています。教室の使用の際にはその担当の先生の指示は必ず守るようにしてください。そして特別教室は移動が必要なので時間を守って授業が始まる前には席に座らなければなりません。新一年生のみなさんは最初、教室の場所が分からず戸惑うかもしれませんがその際は先輩方に聞いてください。これらのルールを守り正しく特別教室を使用できるようにしましょう。

ここで、よく利用するであろう特別教室について説明を三つしたいと思います。一つ目は図書室についてです。図書室は二号館一階の西階段の近くにあります。本の貸し出しの他に調べ学習なども行うことが出来ます。図書室は昼休みと放課後に空いているので興味のある人はぜひ行ってみてください。二つ目は、美術室です。美術室は、一号館二階の西階段の近くにあります。美術の授業では絵を描いたり、彫刻などを行います。三つ目は音楽室です。音楽室は、一号館三階の西階段の近くにあります。音楽の授業では、合唱や鑑賞します。一年生のみなさんは自分達の教室から少し遠いので、時間に余裕をもって行動できるようにしましょう。また各学期ごとにはチャイム着席週間という行事が行われます。チャイム着席とは、チャイムが鳴る前に座れるための行事です。行事期間中は、時間に気をつけなければならないので普段から意識するようにしましょう。他にもこの立花中学校には様々な特別教室があります。視聴覚室やLL教室などがあります。今のうちから場所を覚えておきましょう。

編集後記

新一年生のみなさん、ご入学おめでとうございます。小学校とは違う環境に慣れないこともあるかもしれませんが、出会った仲間を大切にこれから始まる中学校生活を充実したものにできるようにしましょう。

暖かくなってきましたが、眠気に負けないように集中して授業を受けるようにしましょう。（立小川・西村・山崎・上杉）